

2017年3月卒業予定者の

就職活動に関する 学生調査

2016年
6月1日状況
・6月15日状況(臨時調査)

内定獲得率 6月1日時点 **47.9%**

6月15日時点 **60.1%**

半月で12.2ポイントの増加



アイデム 人と仕事研究所

WEBサイトでは、採用活動の
ヒントとなる情報を発信して
います

<https://apj.aidem.co.jp/>

人と仕事

 「就職活動に関する学生調査」
「新卒採用に関する企業調査」
学生と企業の「今」がわかります

株式会社アイデム
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10
アイデム本社ビル

お問い合わせ
▶広報担当/望月・栗木 ▶調査担当/岸川・菊地
☎03-5269-8780 ✉kouhousitu@aidem.co.jp

結 果 概 要

2017 就職活動に関する学生調査
(2016年6月1日状況・6月15日状況(臨時調査))

進捗状況

▶現在のステータス ★

【主な活動】(6月1日時点)

「面接・試験段階」	43.1%
「内定獲得／就活継続段階」	27.5%
「内定獲得／就活終了段階」	18.4%

【各活動ステータスに到達した学生の割合】(6月1日時点)

「面接・試験段階」	91.6%
(前月比+8.3ポイント、前年同月比+6.4ポイント)	
「内定獲得段階」	47.9%
(前月比+24.7ポイント、前年同月比+16.8ポイント)	

内定獲得率は、6月1日時点で47.9%、
6月15日時点で60.1% 半月で12.2ポイント上昇

「内定獲得／就活終了段階」は、6月1日時点で18.4%、
6月15日時点で35.5% 半月で17.1ポイント上昇

▶内定獲得社数 ★

6月 1日時点：平均1.8社
6月15日時点：平均2.2社

▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」は3.6時間で、
前回調査(5月1日時点：4.5時間)から0.9時間の減少
「学業に費やす時間」は3.3時間で、
前回調査(5月1日時点：2.9時間)から0.4時間の増加

▶面接選考企業数

「5～9社」…… 30.7% 「10～19社」…… 29.4%
「1～4社」…… 27.7%

平均8.6社 前年同月調査(6.8社)より1.8社の増加
前回調査(6.4社)から2.2社の増加

▶現在選考中の企業数

「5～9社」…… 30.1% 「1～2社」…… 25.4%
「3～4社」…… 21.2%

平均5.3社 前回調査(6.6社)から1.3社の減少

▶就職活動の進捗感

「予定よりも進んでいない」…… 43.7%
「予定よりも進んでいる」…… 29.0%
「予定通り」…… 27.2%

「内定なし」学生の66.8%は「予定よりも進んでいない」

今後の就職活動予定

▶企業への新たな応募予定がある学生 ★

6月1日時点：64.5% 6月15日時点：67.8%
3月1日以降減少し続けていたが、6月15日時点で初めて増加

▶今まで興味がなかった“業界”や“職種”への応募を 考えている学生 ★

【業界】6月1日時点：58.3% 6月15日時点：62.9%
【職種】6月1日時点：43.1% 6月15日時点：49.8%
3月1日以降減少し続けていたが、6月1日時点で初めて増加

▶6月上旬の面接予定

「ある」…… 87.0%
24.7%が「5月上旬」以前に面接予定が決定

面接予定企業数は、
「2社」…… 24.7% 「1社」…… 22.9%
「4～5社」…… 22.9%

最終面接の予定がある学生は43.9%

▶就職活動の終了見込み時期

「6月末頃まで」…… 34.8% 「7月末頃まで」…… 28.1%
「内定あり」学生の59.9%が、「6月末頃まで」に終えたい意向

内定企業・入社予定企業について

▶内定企業からの意思確認

「内定承諾書等の書類提出」…… 56.8%
「口頭で確認」…… 34.2%
入社予定企業が中小企業である学生ほど、書類提出を
求められている傾向

▶内定企業への入社意思表示の期限

「6月」が51.0%で最多
すでに入社意思を表示した学生は58.5%
うち、40.6%が引き続き他の企業に応募する意向

学生の意識

▶「育児休業」制度の利用意向

「利用したい」男性49.5% 女性92.0%

▶「時短勤務」制度の利用意向

「利用したい」男性49.8% 女性89.2%

▶「残業の免除」制度の利用意向

「利用したい」男性56.1% 女性86.2%

★の項目は、6月1日調査だけでなく、6月15日調査でも聴いている項目です

●	調査概要	p. 4
1	就職活動の進捗状況	p. 5
2	内定獲得状況	p. 6
3	企業規模に対する志向	p. 8
4	1日の活動時間	p. 9
5	会社説明会参加回数	p.10
6	応募企業数	p.11
7	エントリーシート・履歴書提出企業数	p.12
8	面接選考企業数	p.13
9	現在選考中の企業数	p.14
10	志望業界・入社予定企業の業界	p.15
11	志望職種・入社予定企業の職種	p.16
12	企業への新たな応募予定（6月）	p.17
13	就職活動終了見込み時期	p.18
14	入社予定企業の従業員規模	p.19
15	内定企業からの意思確認	p.20
16	内定企業への入社意思表示	p.21
17	就職活動の進捗感	p.22
18	新たに応募する企業の情報収集源	p.23
19	6月上旬の面接予定	p.24
20	6月上旬の面接予定企業数	p.25
21	育児休業等の利用意向	p.26

調 査 概 要

調査目的

2016年6月1日時点、6月15日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

調査対象

2017年3月卒業予定で、民間企業への就職を希望している大学4年生・大学院2年生の男女

調査方法

インターネット調査

調査期間

<6月1日状況> 2016年6月1日～3日
<6月15日状況> 2016年6月15日～17日

有効回答

<6月1日状況> 701名 「JOBBRASS 新卒」登録学生（371名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（330名）
<6月15日状況> 622名 「JOBBRASS 新卒」登録学生（293名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（329名）

※本調査は小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。

※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。

※本調査では、「1 就職活動の進捗状況」「2 内定獲得状況」「12 企業への新たな応募予定（6月）」において、一部、6月15日調査の結果を掲載しています。その他、特に日付の記載のないものは、6月1日調査の結果です。

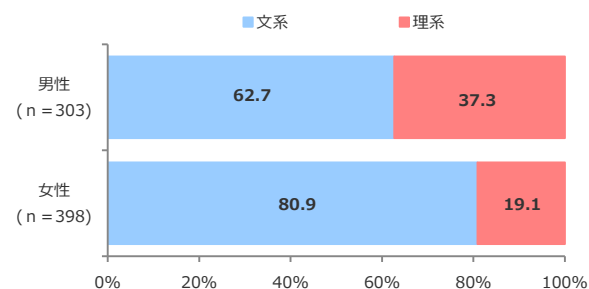
居住地域	6月1日状況		6月15日状況	
	回答数	(%)	回答数	(%)
北海道・東北地方	33	4.7	27	4.3
関東地方	283	40.4	235	37.8
北陸・甲信越地方	14	2.0	16	2.6
東海地方	45	6.4	40	6.4
近畿地方	256	36.5	241	38.7
山陰地方	19	2.7	27	4.3
四国地方	6	0.9	5	0.8
九州地方	45	6.4	31	5.0
合 計	701	100.0	622	100.0

専 攻	6月1日状況		6月15日状況	
	回答数	(%)	回答数	(%)
文系	512	73.0	449	72.2
理系	189	27.0	173	27.8
合 計	701	100.0	622	100.0

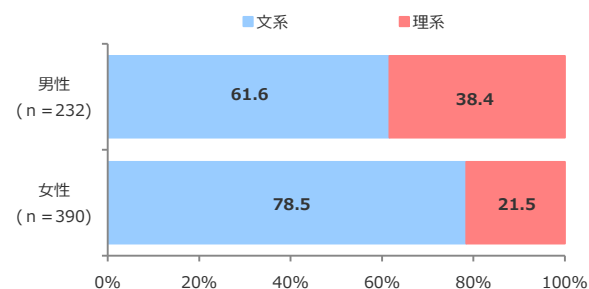
所属サークル	6月1日状況		6月15日状況	
	回答数	(%)	回答数	(%)
文化系	231	33.0	213	34.2
体育会系	177	25.2	134	21.5
イベント系	41	5.8	44	7.1
無所属	252	35.9	231	37.1
合 計	701	100.0	622	100.0

性 別	6月1日状況		6月15日状況	
	回答数	(%)	回答数	(%)
男 性	303	43.2	232	37.3
女 性	398	56.8	390	62.7
合 計	701	100.0	622	100.0

<6月1日状況>



<6月15日状況>



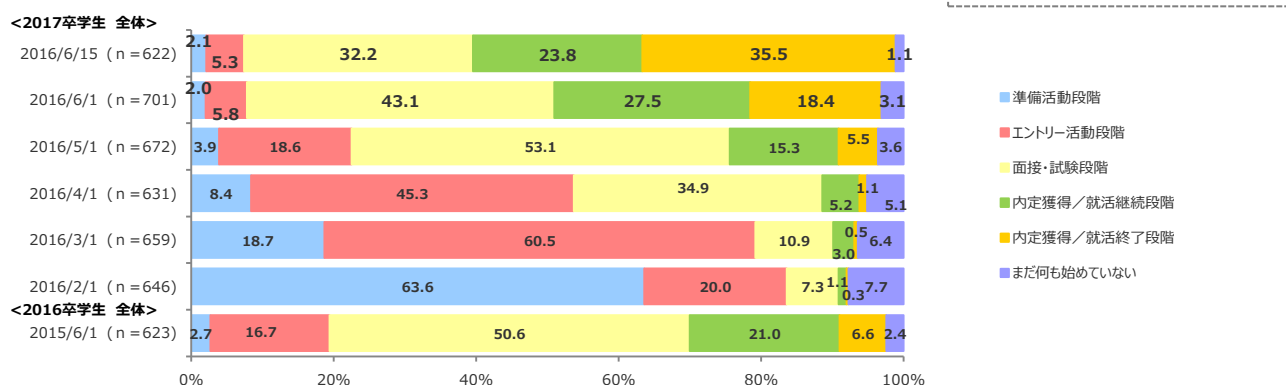
就職活動の進捗状況

学生に、2016年6月1日、6月15日時点の就職活動において、“現在行なっている＜主な活動＞”を聞いた。6月1日調査では、「面接・試験段階」と回答した学生が最も多く43.1%となったものの、5月1日調査（2016年5月1日状況、以下5月1日調査）からは10.0ポイント減少した。6月15日調査になると、さらに10.9ポイント減の32.2%となっている。「内定獲得／就活継続段階」は、5月1日調査から6月1日調査の間に12.2ポイント増加し27.5%となったが、6月15日調査ではやや減少した。「内定獲得／就活終了段階」が、6月1日調査で18.4%、6月15日調査で35.5%と5月1日調査から一気に増加し、就職活動が最終局面に突入した様子がうかがえる（図1.1）。

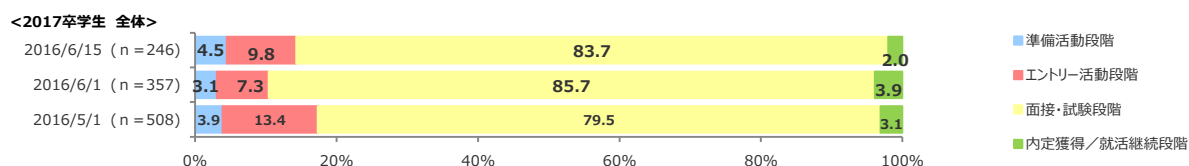
また、＜主な活動＞において「準備活動段階」「エントリー活動段階」「面接・試験段階」のいずれかを回答した学生に、＜最も選考が進んでいる企業の状況＞を聞いた。「面接・試験段階」は、6月1日調査と6月15日調査では8割を超えた（図1.2）。

＜主な活動＞＜最も選考が進んでいる企業の状況＞を合わせて、実際にどのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。6月1日調査において、「準備活動段階」は96.9%（6月15日調査98.9%）、「エントリー活動段階」は95.3%（6月15日調査97.1%）、「面接・試験段階」は91.6%（6月15日調査93.2%）となっている。「内定獲得段階（“内定獲得／就活継続段階”と“内定獲得／就活終了段階”の計。以下“内定獲得率”）」は、6月1日調査で47.9%（6月15日調査60.1%）となった。前年同月調査（「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する調査 2015年6月1日状況」。以下、前年同月調査）と比較すると、「エントリー活動段階」までは同程度の進捗と言えるが、「面接・試験段階」は6.4ポイント、「内定獲得率」は16.8ポイント増加し、昨年よりも進捗が早いようだ（図1.3）。

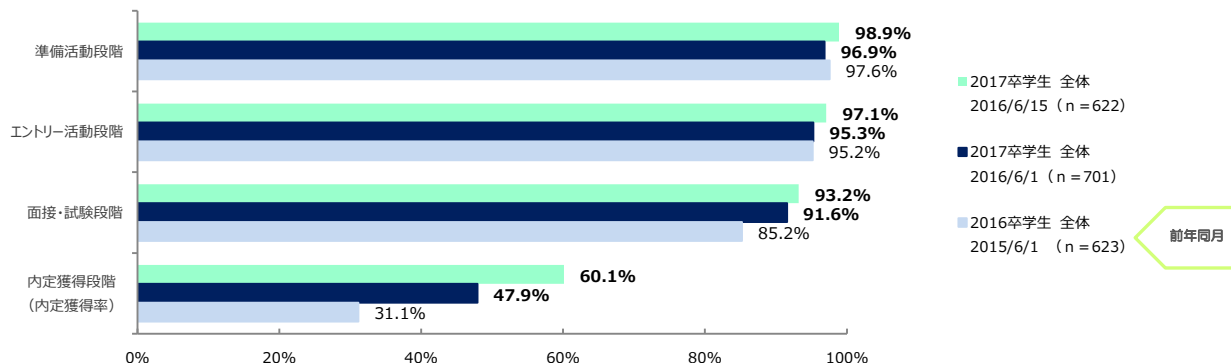
【図1.1】現在の就職活動のステータス：＜主な活動＞



【図1.2】現在の就職活動のステータス：＜最も選考が進んでいる企業の状況＞



【図1.3】各活動ステータスに到達した学生の割合



内定獲得状況

「図1.3 各活動ステータスに到達した学生の割合」から、学生の内定獲得状況を見た。

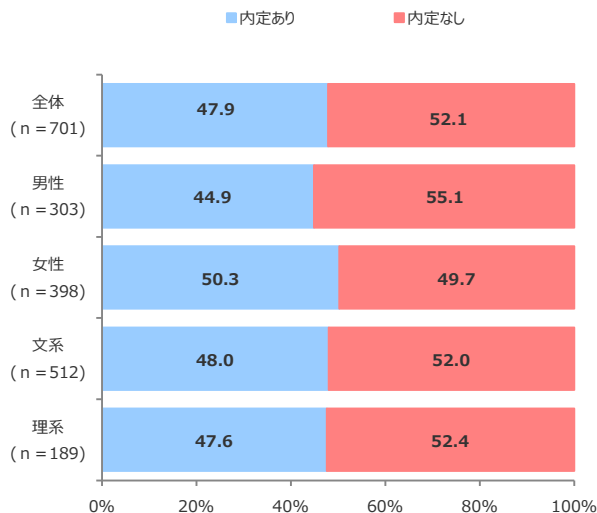
6月1日調査では、全体では、「内定あり」47.9%、「内定なし」52.1%となった。男女別に見ると、男性の内定獲得者は44.9%であるのに対し、女子は50.3%と半数を超えている（図2.1）。

内定を獲得した学生に、獲得社数を聞くと、平均は1.8社だった。「1社」55.4%、「2社」28.0%、「3社以上」16.7%となり、複数の内定を獲得している学生が44.7%に達している。属性別に見ると、男性は、女性よりも平均社数が多く、「3社以上」の内定を獲得した学生の割合も高いのが特徴である（表2.1）。

6月15日調査では、全体では、「内定あり」60.1%、「内定なし」39.9%となった。男女別では、ほぼ同程度の進捗である。文理別では、理系の「内定あり」学生は69.4%と約7割に上り、文系の56.6%と12.8ポイントの差が開いている（図2.2）。

内定を獲得した学生に獲得社数を聞くと、「1社」46.0%、「2社」26.5%、「3社以上」27.5%となった。平均は2.2社で、わずか半月で1.8社から0.4社増加したことになる（表2.2）。

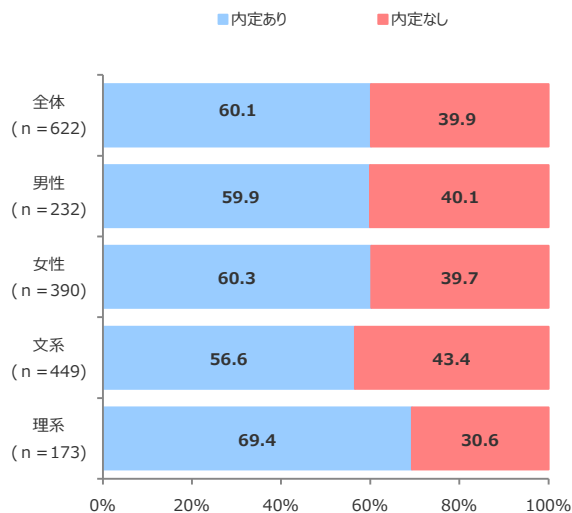
【図2.1】6月1日 内定獲得状況：属性別



【表2.1】6月1日 内定獲得社数：属性別

		1社 (%)	2社 (%)	3社以上 (%)	平均 (社)
全体 (n=336)		55.4	28.0	16.7	1.8
男女別	男性 (n=136)	52.2	24.3	23.5	2.0
	女性 (n=200)	57.5	30.5	12.0	1.6
文理別	文系 (n=246)	54.5	27.6	17.9	1.8
	理系 (n=90)	57.8	28.9	13.3	1.6
対する企業規模に志向別	大企業志向 (n=162)	57.4	24.7	17.9	1.8
	中小企業志向 (n=112)	56.3	30.4	13.4	1.6
	企業の規模は全く意識していない (n=62)	48.4	32.3	19.4	2.0

【図2.2】6月15日 内定獲得状況：属性別



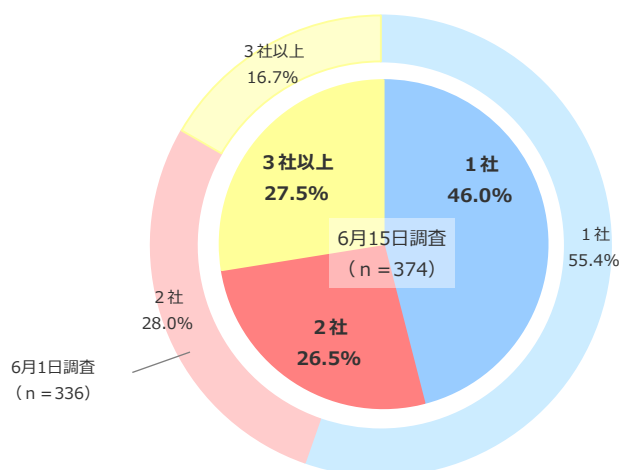
【表2.2】6月15日 内定獲得状況：属性別

		1社 (%)	2社 (%)	3社以上 (%)	平均 (社)
全体 (n=374)		46.0	26.5	27.5	2.2
男女別	男性 (n=139)	41.0	29.5	29.5	2.5
	女性 (n=235)	48.9	24.7	26.4	2.0
文理別	文系 (n=254)	44.5	25.6	29.9	2.2
	理系 (n=120)	49.2	28.3	22.5	2.3
対する企業規模に志向別	大企業志向 (n=197)	46.7	23.4	29.9	2.4
	中小企業志向 (n=115)	44.3	32.2	23.5	2.0
	企業の規模は全く意識していない (n=62)	46.8	25.8	27.4	2.0

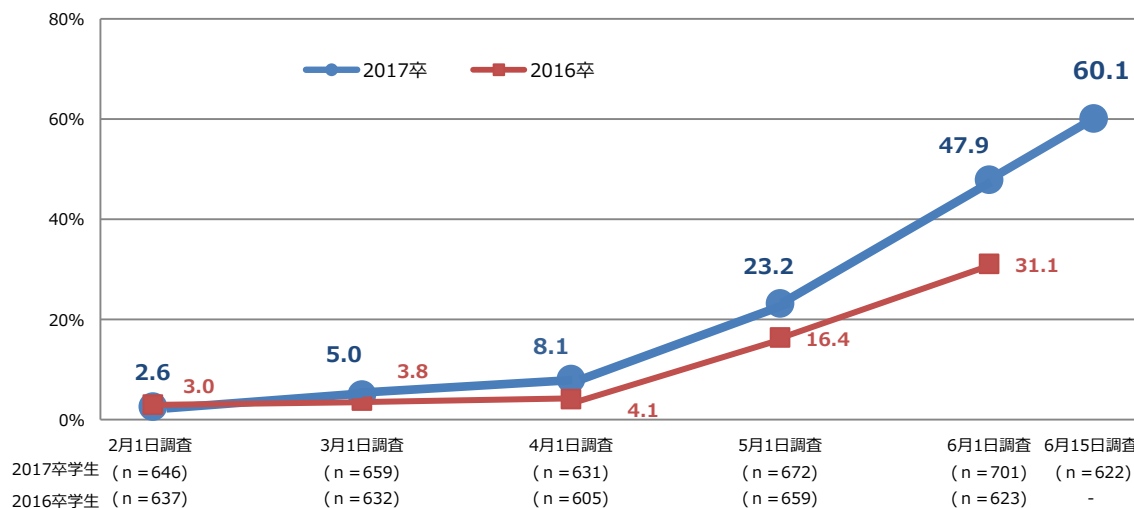
また、複数の内定を獲得している学生の割合を、6月1日調査と6月15日調査で比較した。複数の内定を獲得している学生は、6月1日調査では44.7%、6月15日調査では54.0%となり、半月で9.3ポイント増加した（図2.3）。

内定獲得率の推移を見ると、6月1日調査では47.9%（5月1日調査から24.7ポイント増加）、6月15日調査では60.1%（6月1日調査から12.2ポイント増加）となっており、6月に入り一気に企業側の内定出しが始まったことがうかがえる。また、前年同月調査と比較すると、6月1日時点で16.8ポイントの差が出た。今年は、広報活動解禁日から選考活動解禁日までの期間が短くなったため、その分急激に上昇している様子がうかがえる（図2.4）。

【図2.3】内定獲得社数：6月1日調査と6月15日調査の比較



【図2.4】内定獲得率の推移



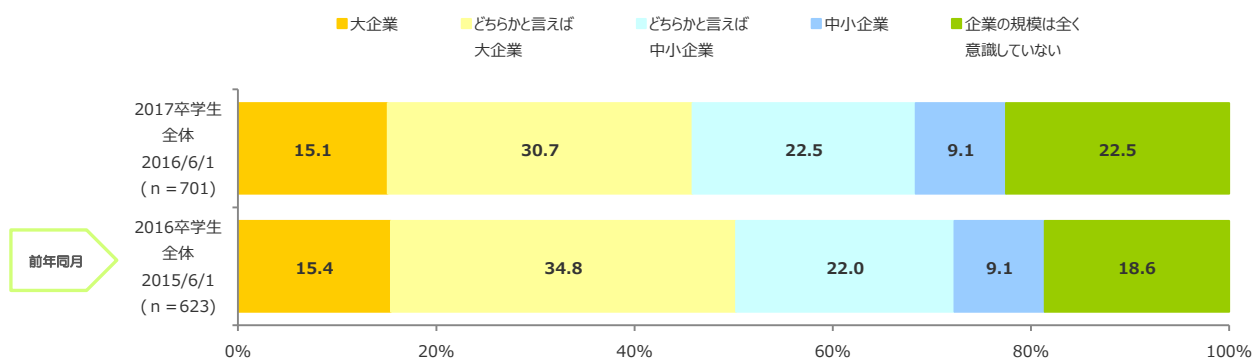
企業規模に対する志向

学生に、就職活動を行なうにあたり、大企業と中小企業のどちらを志望する気持ちが強いかを聞いた。6月1日時点では、「大企業」「どちらかと言えば大企業」を合わせた回答が45.8%に上った。「中小企業」「どちらかと言えば中小企業」と回答した学生は合わせて31.6%、「企業の規模は全く意識していない」学生は22.5%となった。前年同月調査と比較すると、大企業志向の学生が減少し、企業の規模を意識していない学生がやや増加している（図3.1）。

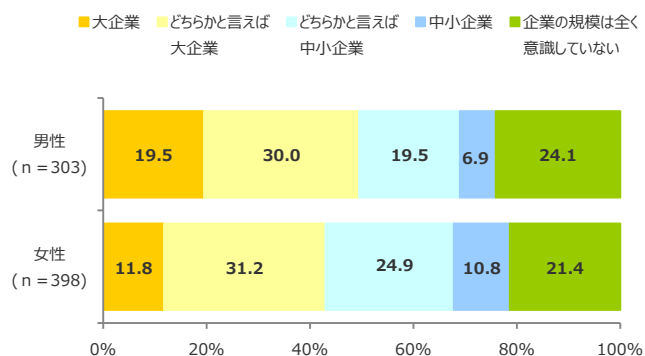
男女別で見ると、大企業志向の学生の割合は、男性で49.5%となり、女性の43.0%よりも高い。一方、女性は、中小企業志向の学生の割合が男性よりも高く、約10ポイントの差が生じている（図3.2）。

文理別で見ると、大企業志向の学生の割合は、文系で45.3%、理系で47.1%となった（図3.3）。

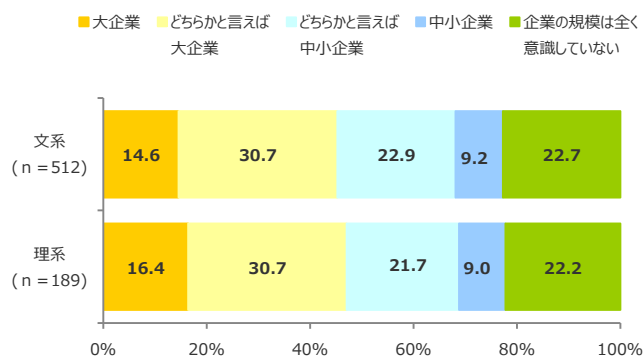
【図3.1】企業規模に対する志向



【図3.2】企業規模に対する志向：男女別



【図3.3】企業規模に対する志向：文理別



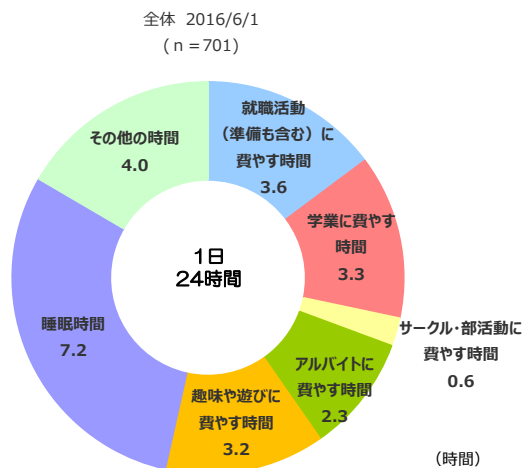
1日の活動時間

学生に、6月1日時点で、1日のうち「就職活動」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動」3.6時間、「学業」3.3時間、「サークル・部活動」0.6時間、「アルバイト」2.3時間、「趣味や遊び」3.2時間、「睡眠」7.2時間となった（図4.1）。

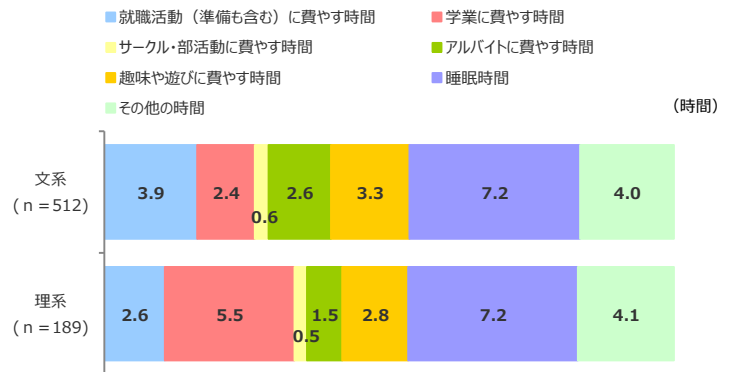
文理別に見ると、理系は「学業」に費やす時間が5.5時間と、文系の2.4時間より3.1時間多く、倍以上の差がついている。一方、文系は、「就職活動」に費やす時間が3.9時間で、理系の2.6時間より1.3時間多い（図4.2）。

時系列で見ると、「就職活動」に費やす時間は、5月1日調査から0.9時間減少した。減少幅も、4月1日調査から5月1日調査の減少幅（0.4時間）よりも大きい。また、前年調査では、4月1日から6月1日まで、4.2～4.3時間の一定の就職活動時間が確保されていたが、本年は短期間のうちに減少傾向に転じている。「学業」に費やす時間も5月1日調査から増えており、6月1日が選考活動解禁日とされているものの、すでに就職活動が落ち着いた学生も一定数いることがうかがえる（図4.3）。

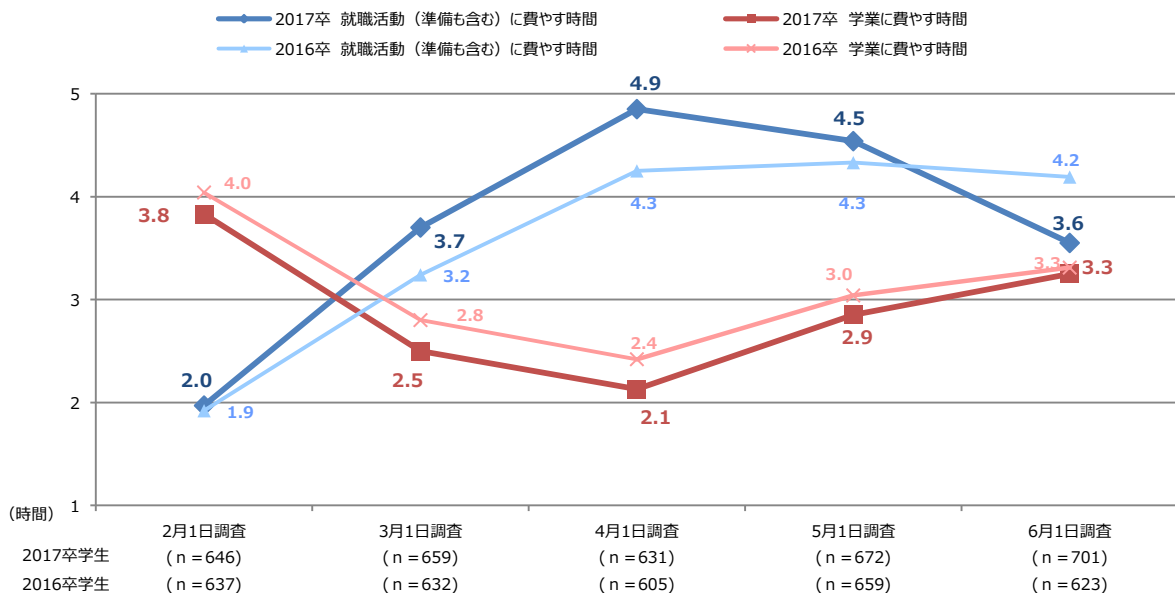
【図4.1】1日の活動時間／平均



【図4.2】1日の活動時間／平均：文理別



【図4.3】1日の活動時間の推移／平均



会社説明会参加回数

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、6月1日までに参加した会社説明会の回数の合計を聞いた。結果は、「30回以上」が33.1%と最も多く、続いて「1～9回」が21.5%、「20～29回」19.3%、「10～14回」13.7%、「15～19回」10.5%となった。

平均回数は21.9回となった。男女別では女性の、文理別では文系の、企業規模に対する志向別では大企業志向の学生の参加回数が多くなっている。また、内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生の方が「内定なし」の学生に比べ、より多くの会社説明会に参加している傾向がある（表5）。

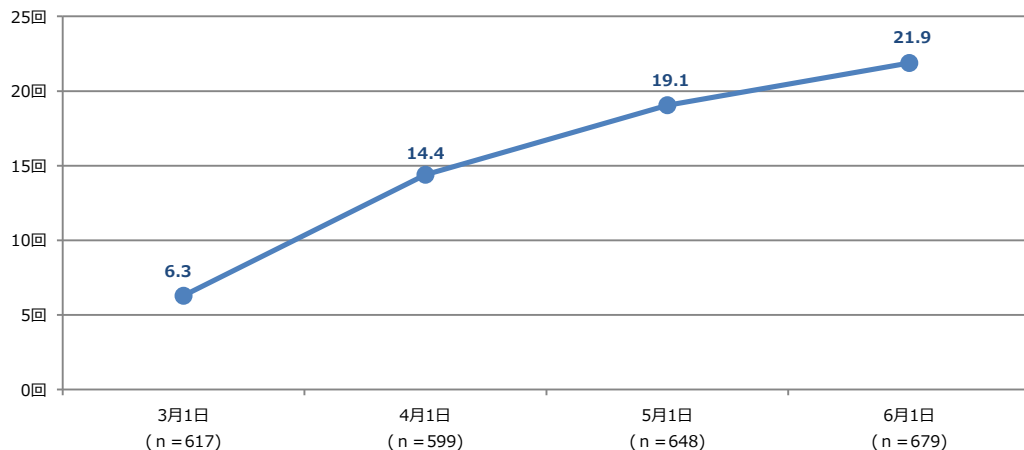
平均回数の推移を見ると、5月1日調査より2.8回増加している。3月1日から行なってきた調査の中では増加幅が最も小さくなり、会社説明会へ参加する時期のピークは過ぎているようだ（図5）。

【表5】会社説明会参加回数：属性別

		0 回	1 ～ 9 回	10 ～ 14 回	15 ～ 19 回	20 ～ 29 回	30 回 以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(回)
全体(n=679)		1.9	21.5	13.7	10.5	19.3	33.1	21.9
男女別	男性 (n=290)	2.8	27.6	16.6	9.7	17.6	25.9	18.4
	女性 (n=389)	1.3	17.0	11.6	11.1	20.6	38.6	24.5
文理別	文系 (n=502)	1.8	18.3	11.8	9.6	18.7	39.8	24.1
	理系 (n=177)	2.3	30.5	19.2	13.0	20.9	14.1	15.6
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=318)	1.3	18.9	11.9	10.1	23.9	34.0	23.4
	中小企業志向 (n=215)	0.9	25.1	14.0	12.6	14.9	32.6	20.5
	企業の規模は全く意識していない (n=146)	4.8	21.9	17.1	8.2	15.8	32.2	20.6
内定獲得状況別	内定あり (n=336)	0.3	15.2	12.2	12.5	21.4	38.4	25.0
	内定なし (n=343)	3.5	27.7	15.2	8.5	17.2	28.0	18.8

(※) 表中の「内定獲得状況別」は、6月1日時点の内定獲得状況別の結果を示しています

【図5】会社説明会参加回数の推移／平均



応募企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、6月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。結果は、「1～9社」27.7%、「10～19社」26.6%が多くなっている。

平均社数は22.2社となり、男性よりも女性、理系よりも文系、中小企業志向や企業規模を意識していない学生よりも大企業志向の学生の方が、応募企業数が多くなっており、就職活動が進んでいるようだ。また、前年同月調査と比較すると5.4社少なく、売り手市場の様相を呈している（表6）。

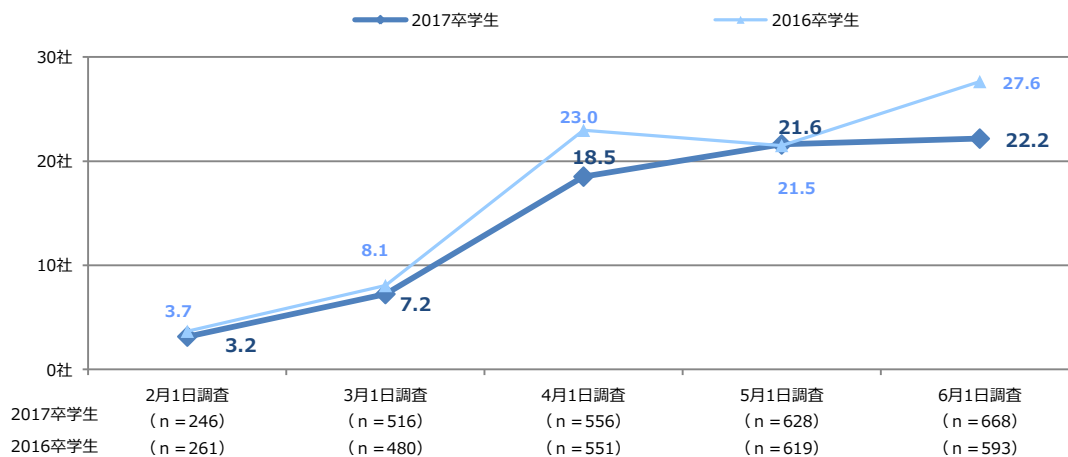
平均社数の推移を見ると、5月1日調査の21.6社から0.6社増加したものの、ほぼ横ばいとなっている（図6）。

【表6】選考に応募した企業数：属性別

		0社	1～9社	10～19社	20～29社	30～39社	40社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
前年同月	2017卒学生 全体 2016/6/1 (n=668)	0.3	27.7	26.6	17.4	17.1	10.9	22.2
	2016卒学生 全体 2015/6/1 (n=593)	0.8	25.8	22.3	13.8	18.4	18.9	27.6
	男性 (n=282)	0.0	32.6	29.1	12.4	18.1	7.8	19.8
	女性 (n=386)	0.5	24.1	24.9	21.0	16.3	13.2	23.9
	文系 (n=494)	0.4	23.1	26.1	19.2	18.8	12.3	24.1
	理系 (n=174)	0.0	40.8	28.2	12.1	12.1	6.9	16.6
	企業規模に 対する志向別							
状況別 (※)	大企業志向 (n=312)	0.3	21.8	27.2	17.6	19.6	13.5	24.3
	中小企業志向 (n=213)	0.0	33.3	26.3	19.7	12.7	8.0	19.1
	企業の規模は全く 意識していない (n=143)	0.7	32.2	25.9	13.3	18.2	9.8	22.1
	内定あり (n=336)	0.0	25.3	27.4	18.2	16.4	12.8	24.4
	内定なし (n=332)	0.6	30.1	25.9	16.6	17.8	9.0	19.9

(※) 表中の「内定獲得状況別」は、6月1日時点の内定獲得状況別の結果を示しています

【図6】選考に応募した企業数の推移／平均



エントリーシート・履歴書提出企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、6月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く32.8%、次いで「5～9社」20.5%、「20～29社」18.7%となっている。

前年同月調査と比較すると、「1～4社」と回答した学生が減少しているものの、回答の状況は概ね同程度である（表7）。

平均社数は、14.4社で、前年同月調査の12.9社よりも1.5社多くなっている。

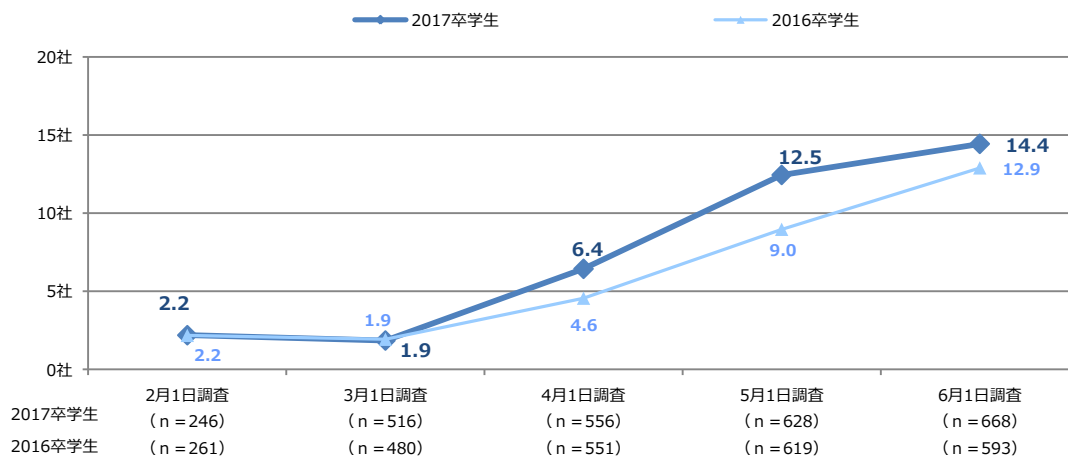
平均社数の推移を見ると、5月1日調査までの増加幅よりも小さくなり、1.9社の増加に留まっている（図7）。

【表7】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

		0社	1～4社	5～9社	10～19社	20～29社	30社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
2017卒学生 全体 2016/6/1 (n=668)		0.4	15.1	20.5	32.8	18.7	12.4	14.4
2016卒学生 全体 2015/6/1 (n=593)		1.3	20.7	19.9	31.2	15.5	11.3	12.9
男女別	男性 (n=282)	0.4	21.3	18.1	32.6	15.6	12.1	13.5
	女性 (n=386)	0.5	10.6	22.3	32.9	21.0	12.7	15.2
文理別	文系 (n=494)	0.4	11.9	19.4	34.2	21.3	12.8	15.2
	理系 (n=174)	0.6	24.1	23.6	28.7	11.5	11.5	12.2
対する企業規模に 志向別	大企業志向 (n=312)	0.3	11.9	17.9	34.3	19.9	15.7	15.8
	中小企業志向 (n=213)	0.0	19.7	19.7	34.7	16.4	9.4	13.3
	企業の規模は全く意識していない (n=143)	1.4	15.4	27.3	26.6	19.6	9.8	13.3
状況別 (※)	内定あり (n=336)	0.0	12.5	22.9	29.8	18.2	16.7	15.5
	内定なし (n=332)	0.9	17.8	18.1	35.8	19.3	8.1	13.4

(※) 表中の「内定獲得状況別」は、6月1日時点の内定獲得状況別の結果を示しています

【図7】エントリーシート・履歴書提出企業数の推移／平均



面接選考企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、6月1日までに面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「5～9社」30.7%、「10～19社」29.4%となっている。

平均社数を属性別に見ると、男女別では大きな差はなく、文理別では文系の方が多くなっている。企業規模に対する志向別では、中小企業志向の学生が、他の学生よりも平均社数が少ない傾向が見られた（表8）。

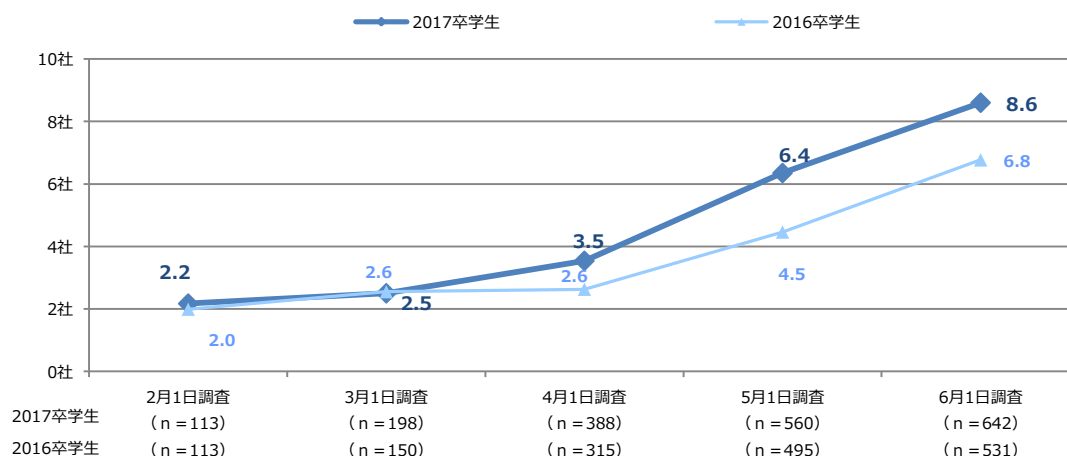
平均社数の推移を見ると、5月1日調査より2.2社増加し、8.6社となった。前年調査よりも2社程度多く推移しており、昨年よりも、面接に進める学生が多くなっている様子がうかがえる（図8）。

【表8】面接選考企業数：属性別

		0社	1～4社	5～9社	10～19社	20社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
2017卒学生 全体 2016/6/1 (n=642)		2.6	27.7	30.7	29.4	9.5	8.6
前年同月 2016卒学生 全体 2015/6/1 (n=531)		2.6	36.5	32.8	23.7	4.3	6.8
男女別	男性 (n=267)	2.6	28.8	28.5	31.1	9.0	8.6
	女性 (n=375)	2.7	26.9	32.3	28.3	9.9	8.6
文理別	文系 (n=475)	1.9	25.1	30.7	30.5	11.8	9.2
	理系 (n=167)	4.8	35.3	30.5	26.3	3.0	6.9
対する企業規模に 志向別	大企業志向 (n=301)	1.7	26.6	30.9	30.6	10.3	9.0
	中小企業志向 (n=208)	2.9	32.7	27.4	31.3	5.8	8.0
	企業の規模は全く意識していない (n=133)	4.5	22.6	35.3	24.1	13.5	8.7
状況別 (※)	内定あり (n=336)	0.0	24.1	29.5	33.3	13.1	9.8
	内定なし (n=306)	5.6	31.7	32.0	25.2	5.6	7.3

(※) 表中の「内定獲得状況別」は、6月1日時点の内定獲得状況別の結果を示しています

【図8】面接選考企業数の推移／平均



現在選考中の企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、かつ活動を継続している学生に対し、6月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中であり最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。最も多かった回答は、「5～9社」で30.1%だった。さらに「1～2社」25.4%、「3～4社」21.2%と続く。

平均社数は、5.3社だった。属性別に見ると、男女別では差はないものの、文理別では文系で、企業規模に対する志向別では大企業志向の学生で、現在選考中の企業数が多くなっている（表9）。

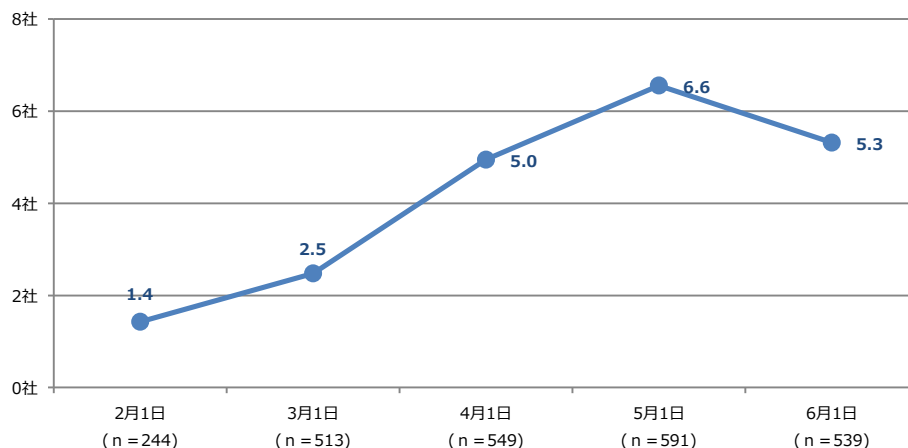
平均社数の推移を見ると、増加傾向だった5月1日調査から一転し、6.6社から1.3社の減少に転じた。6月の選考活動解禁で出される可否結果を期待し応募を控えていた学生や、内定獲得で就職活動を終了させる学生が多くなったことが影響していると思われる（図9）。

【表9】現在選考中の企業数：属性別

		0社	1～2社	3～4社	5～9社	10社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
全体 (n=539)		5.9	25.4	21.2	30.1	17.4	5.3
男女別	男性 (n=221)	5.4	26.7	23.1	27.1	17.6	5.3
	女性 (n=318)	6.3	24.5	19.8	32.1	17.3	5.3
文理別	文系 (n=413)	6.1	20.8	21.3	32.2	19.6	5.7
	理系 (n=126)	5.6	40.5	20.6	23.0	10.3	4.2
対する企業規模に	大企業志向 (n=251)	3.2	19.1	20.7	34.3	22.7	6.3
	中小企業志向 (n=167)	9.6	32.3	22.2	27.5	8.4	4.0
	企業の規模は全く意識していない (n=121)	6.6	28.9	20.7	24.8	19.0	5.1
(※) 内定獲得状況別	内定あり (n=207)	3.9	24.6	20.3	32.4	18.8	5.5
	内定なし (n=332)	7.2	25.9	21.7	28.6	16.6	5.2

(※) 表中の「内定獲得状況別」は、6月1日時点の内定獲得状況別の結果を示しています

【図9】現在選考中の企業数の推移／平均

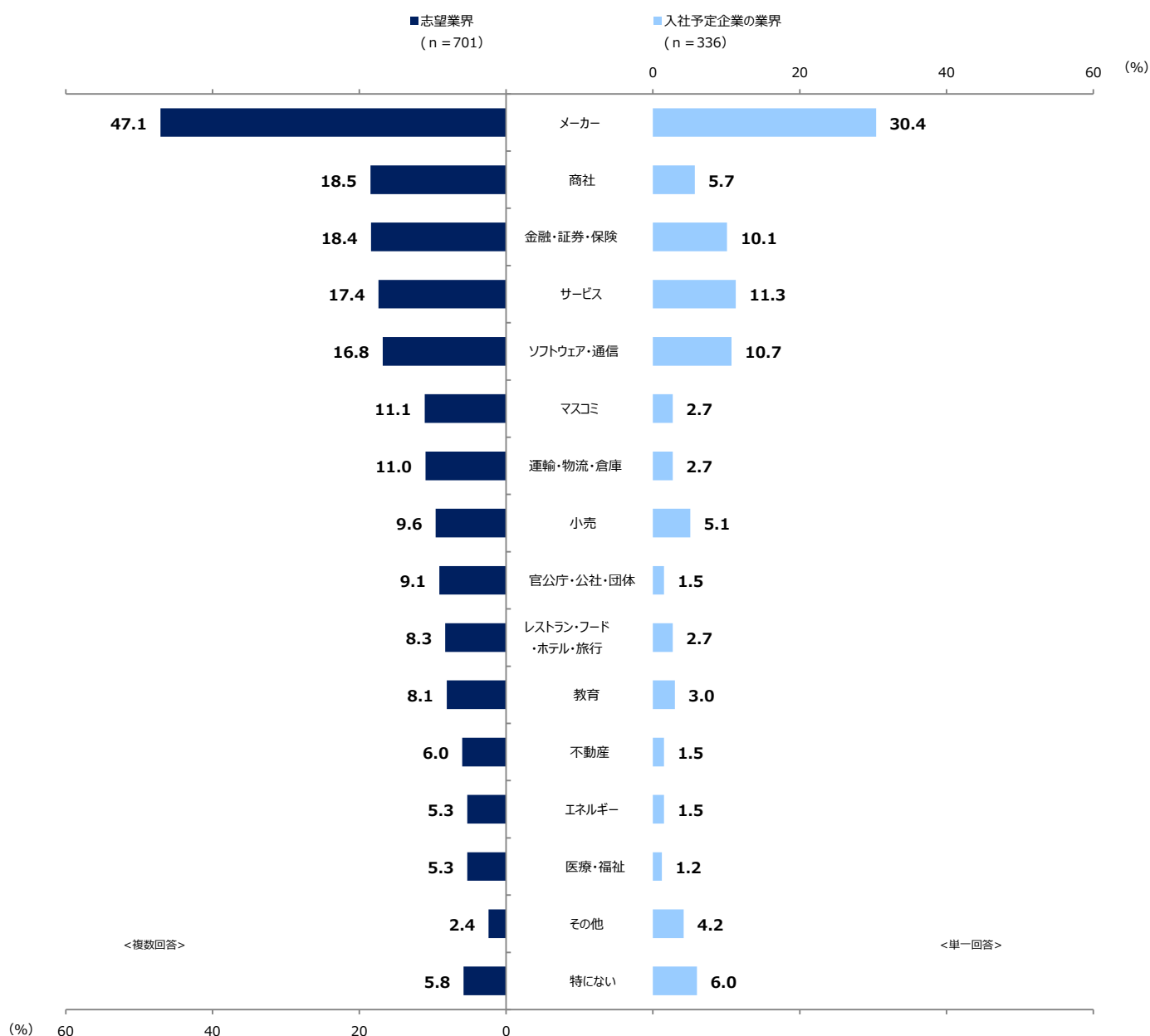


志望業界・
入社予定企業の業界

学生に、6月1日時点の志望業界について聞くと、「メーカー」が突出して多く、47.1%となった。次いで、「商社」18.5%、「金融・証券・保険」18.4%となった。

また、「2 内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業の業界を聞いた。結果は、「メーカー」30.4%、「サービス」11.3%、「ソフトウェア・通信」10.7%、「金融・証券・保険」10.1%の順となった(図10)。

【図10】 志望している業界はどこか／入社予定企業の業界はどこか

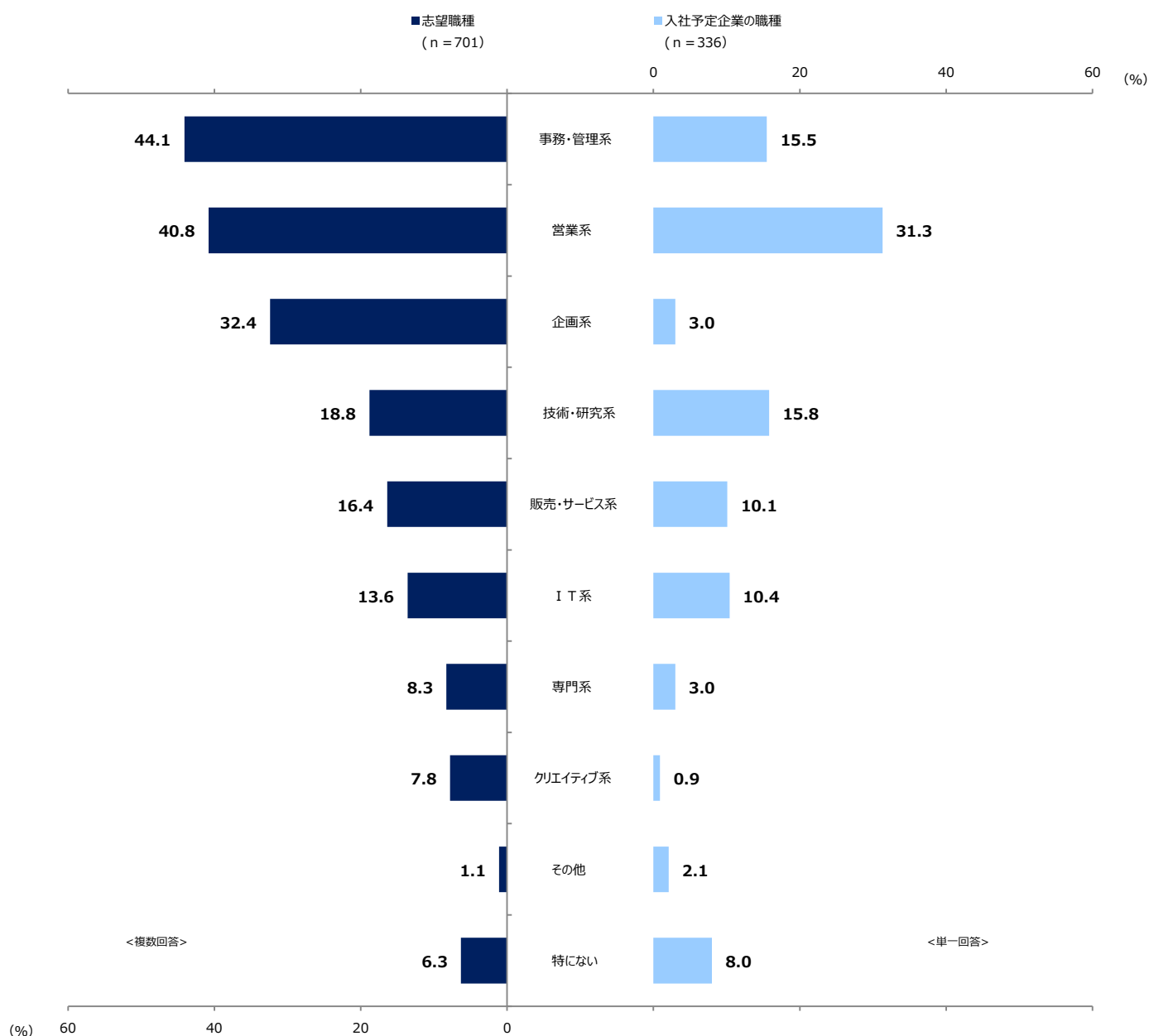


志望職種・ 入社予定企業の職種

学生に、6月1日時点の志望職種について聞くと、「事務・管理系」が44.1%と最も多く、続いて「営業系」40.8%、「企画系」32.4%、「技術・研究系」18.8%の順となった。

また、「2 内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業で従事する職種を聞いた。「営業系」31.3%、「技術・研究系」15.8%、「事務・管理系」15.5%となっている（図11）。

【図11】 志望している職種は何か／入社予定企業で従事する職種は何か



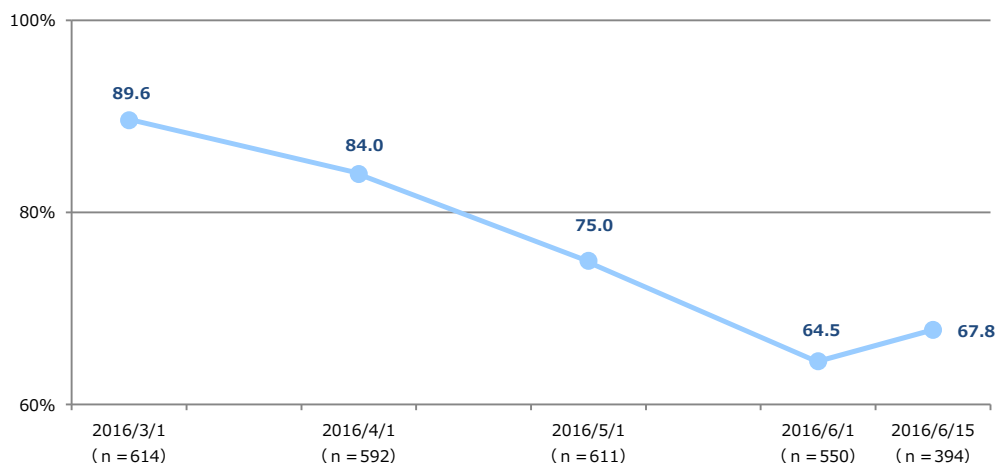
企業への新たな応募予定（6月）

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、6月の就職活動において、新たに企業に応募する予定があるかを聞いた。「ある」と回答した学生の割合は、6月1日調査では64.5%、6月15日調査では67.8%となった。3月1日の調査開始以来、減少し続けていたが、6月15日調査では増加に転じた。6月上旬に最終選考が一斉に行なわれ始めたためか、満足のいく結果が得られず、新たな応募先を開拓せざるを得ない学生が増えてきたことがうかがえる（図12.1）。

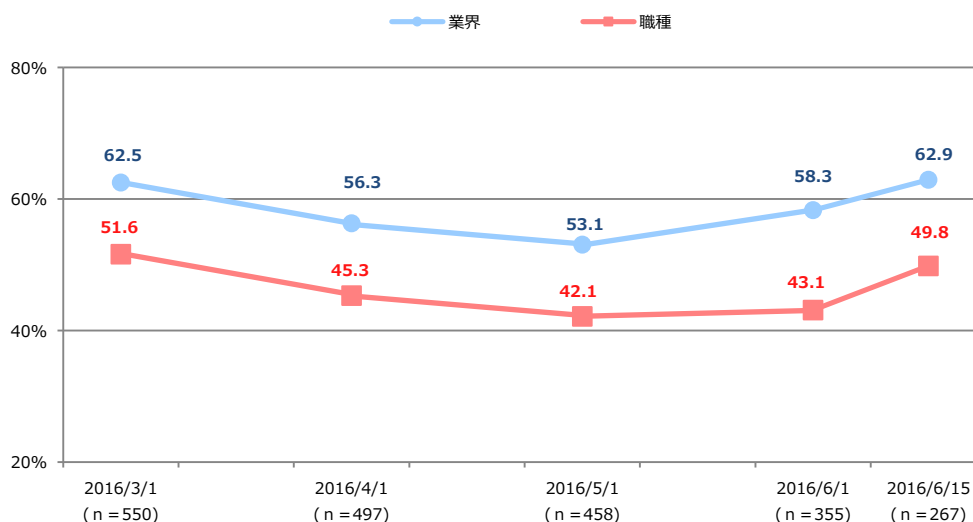
さらに、新たに応募する予定が「ある」と回答した学生に、今まで興味がなかった“業界”や、興味がなかった“職種”も応募しようと考えているかを聞いた。「（応募しよう）と考えている」と回答した学生の割合は、“業界”では6月1日調査58.3%（6月15日調査62.9%）、“職種”では6月1日調査43.1%（6月15日調査49.8%）となった。新たな企業に目を向ける際には、“職種”よりも、“業界”の視野を広げる学生の方が多いようだ。

また、今までとは異なる“業界”や“職種”に応募する意向の学生は減少傾向にあったが、6月1日調査から増加傾向に転じた。就職活動が進むにつれ視野が広がったり、内定獲得者が増えてきたことへの焦りなどが影響しているのかもしれない（図12.2）。

【図12.1】今月、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：時系列



【図12.2】今まで興味がなかった“業界”や“職種”も応募しようと考えている学生の割合：時系列

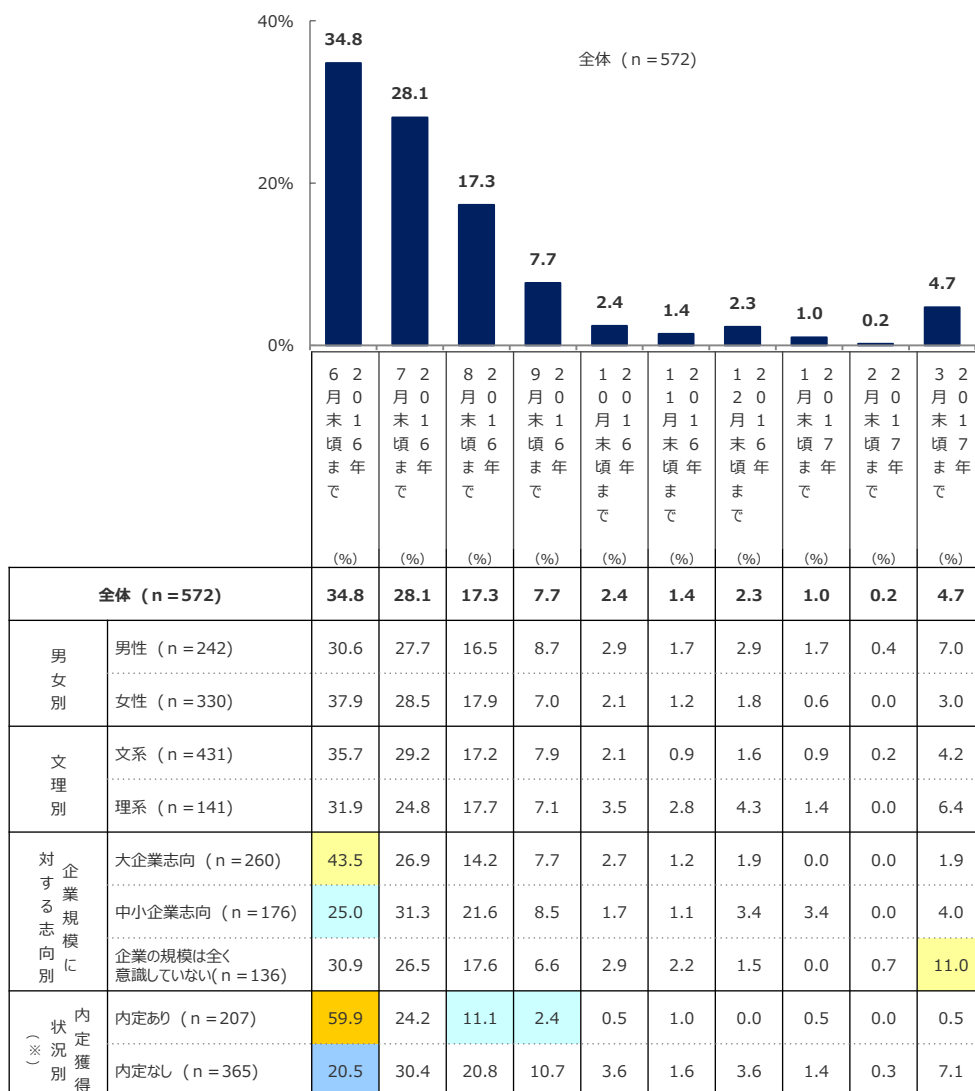


就職活動終了見込み時期

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」以外の回答をした学生に対し、現在までの就職活動の進捗を踏まえて、いつ頃までに就職活動を終わらせたいと考えているかを聞いた。最も多くの回答を集めたのは「6月末頃まで」で34.8%だった。次いで、「7月末頃まで」が28.1%、「8月末頃まで」が17.3%と続き、6月1日時点では、選考活動解禁後3ヵ月以内での終了を見込んでいる学生が全体の8割に達した。

また、内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生の59.9%は、選考活動解禁直後の6月末頃までに就職活動を終わらせたいとしている（図13）。

【図13】いつ頃までに就職活動を終わらせたいと考えているか



(※) 表中の「内定獲得状況別」は、6月1日時点の内定獲得状況別の結果を示しています

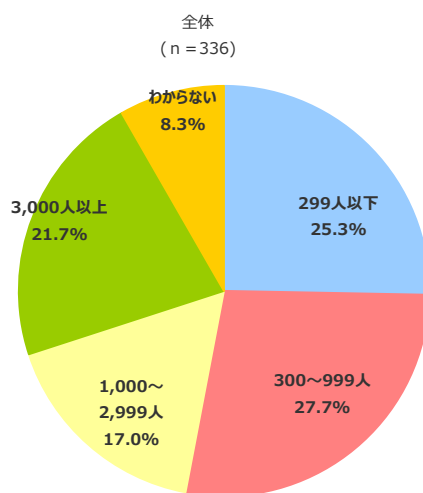
入社予定企業の従業員規模

「2 内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業（複数内定獲得者は、現時点で最も入社志望度が高い企業）の従業員規模を聞いた。「300～999人」規模の企業に入社予定の学生が最も多く、27.7%に上る。次いで、「299人以下」25.3%、「3,000人以上」21.7%となっている（図14.1）。

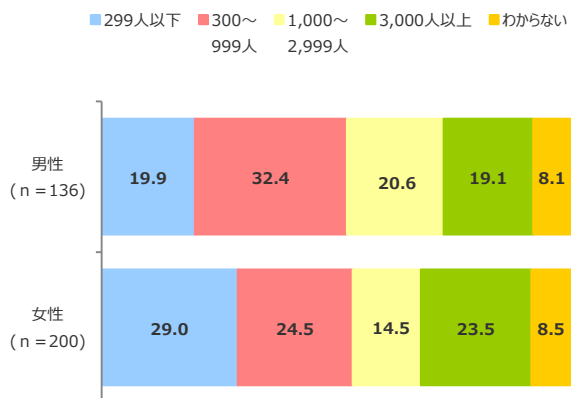
男女別に見ると、女性は男性よりも「299人以下」規模の企業に入社予定である学生の割合が高い（図14.2）。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生の約3割は「999人以下」の企業に入社予定であり、「6月1日時点では」自身の志向と入社予定企業の規模が合致していない状況が生じている（図14.3）。

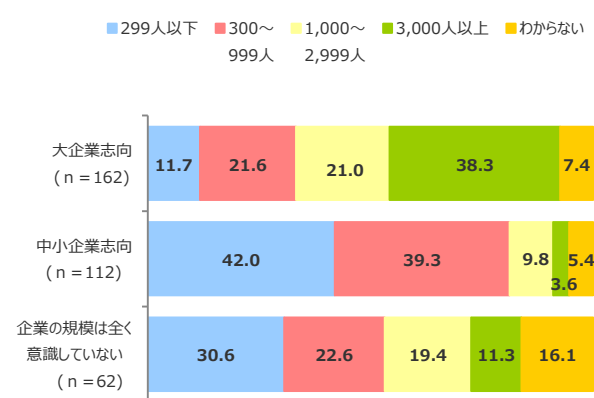
【図14.1】入社予定企業の従業員規模



【図14.2】入社予定企業の従業員規模：男女別



【図14.3】入社予定企業の従業員規模：企業規模に対する志向別

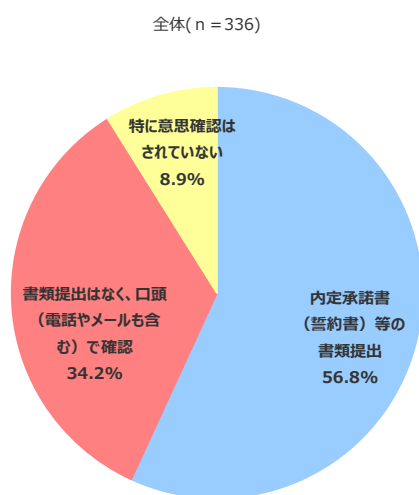


内定企業からの意思確認

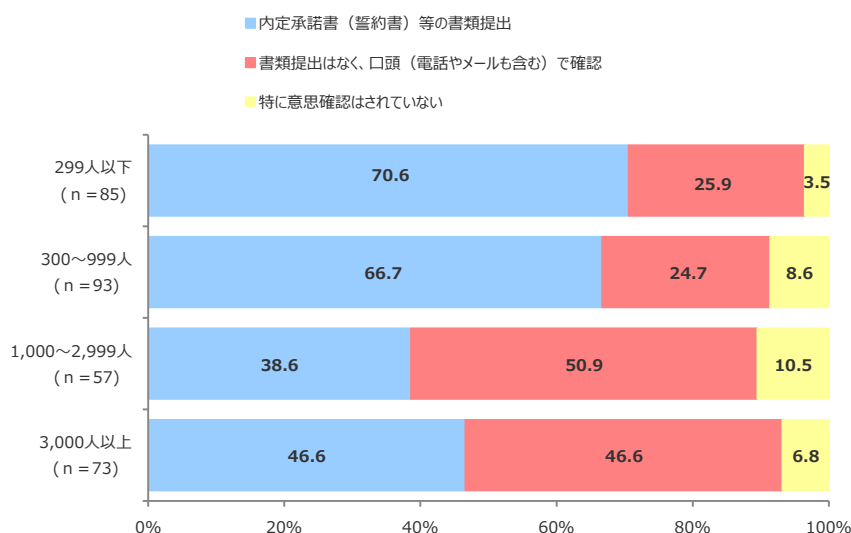
「 2 内定獲得状況」において、6月1日時点で内定を獲得している学生に対し、内定企業から入社をどのよう
な形で確認されたかを聞いた（複数内定獲得者は、最も多かった確認方法を回答）。56.8%の学生が、「内定承諾書
（誓約書）等の書類提出」を求められたとしている。他は、「書類提出はなく、口頭（電話やメールも含む）で確認」
が34.2%、「特に意思確認はされていない」が8.9%だった（図15.1）。

「 14 入社予定企業の従業員規模」との関係を見ると、「299人以下」規模の企業に入社予定の学生では70.6%、
「300～999人」規模の企業に入社予定の学生では66.7%が、「内定承諾書（誓約書）等の書類提出」を求められてい
る。一方、「1,000～2,999人」や「3,000人以上」の企業に入社予定の学生では、その割合は4割程度に下がって
おり、中小企業ほど、内定者の入社を確約を書類提出という形に残るもので得たい傾向があるようだ（図15.2）。

【図15.1】内定企業から入社意思をどのような形で確認されたか



【図15.2】内定企業から入社意思をどのような形で確認されたか：入社予定企業の従業員規模別（※「わからない」の回答者を除く）



内定企業への入社意思表示

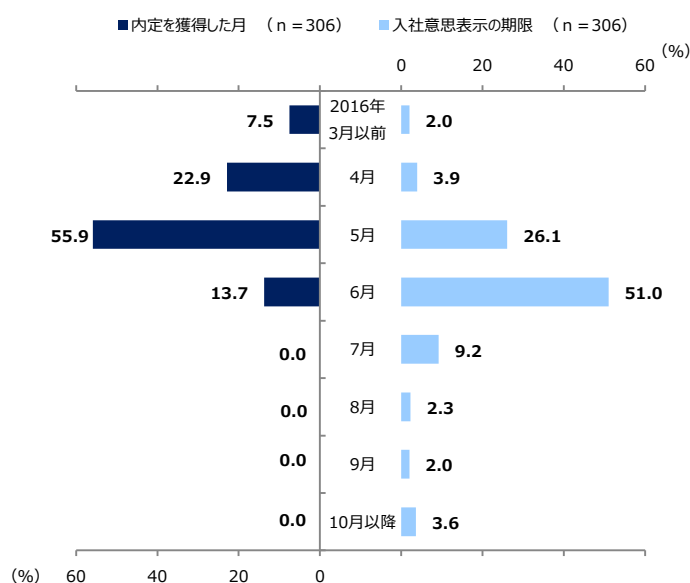
「15 内定企業からの意思確認」において、「内定承諾書（誓約書）等の書類提出」または「書類提出はなく、口頭（電話やメールも含む）で確認」を回答した学生に、「内定を獲得した月」と内定企業から求められた「入社意思表示の期限」を聞いた（複数内定獲得者は、最も入社したい1社を想定して回答）。「内定を獲得した月」は、5月が55.9%で最多、「入社意思表示の期限」は6月が51.0%で最多となっている（図16.1）。

これらの相関を見ると、「内定を獲得した月」が「3月以前」の学生は、「入社意思表示の期限」が「3月以前」「5月」「6月」に分散している。「4月」以降に内定を獲得した学生では、当月と翌月あたりに期限を設けられている傾向があった。内定獲得月が「5月」以降だった場合、特にその傾向が強く、「内定を獲得した月」が「5月」だった学生の56.1%が、「6月」だった学生の71.4%が「6月中」に入社意志表示を求められており、「6月」がひとつの区切りの時期であることがうかがえる（表16）。

また、内定企業から入社の意思表示を求められたことに対し、実際に入社の意思表示をしたかを聞いた。すでに「入社する旨の意思表示をした」学生は58.5%だった。「まだ意思表示をしていない」学生も39.9%に上り、約4割の学生は返答を保留しているようだ（図16.2）。

また、「入社する旨の意思表示をした」学生について、「12 企業への新たな応募予定（6月）」との関係を見た。「入社する旨の意思表示をした」にもかかわらず、6月1日時点で、6月に新たに企業に応募する予定が「ある」と回答していた学生は40.6%に上った。内定が出た企業に対しては前向きな返事をしながらも、就職活動を継続している学生の本音と建前が見える結果となった（図16.3）。

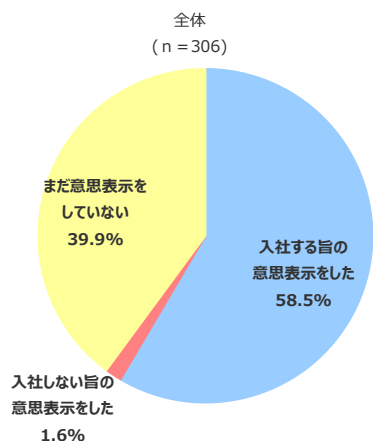
【図16.1】内定を獲得した月、入社意思表示の期限



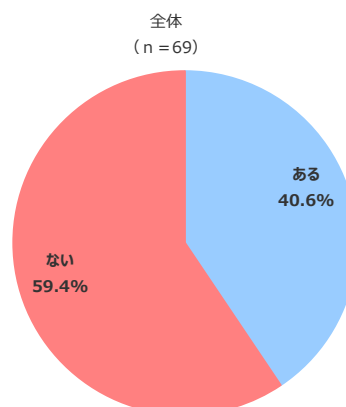
【表16】入社意思表示の期限：内定を獲得した月別

		入社意思表示の期限							
		2016年							
		3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降
全体 (n=306)		2.0	3.9	26.1	51.0	9.2	2.3	2.0	3.6
内定を獲得した月	3月以前 (n=23)	26.1	4.3	21.7	21.7	8.7	4.3	4.3	8.7
	4月 (n=70)	0.0	15.7	38.6	35.7	7.1	0.0	1.4	1.4
	5月 (n=171)	0.0	0.0	28.1	56.1	8.8	1.8	1.8	3.5
	6月 (n=42)	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	7.1	2.4	4.8

【図16.2】入社意思表示をしたか



【図16.3】入社意思表示をした学生のうち、6月に新たに企業に応募する予定がある者の割合



就職活動の進捗感

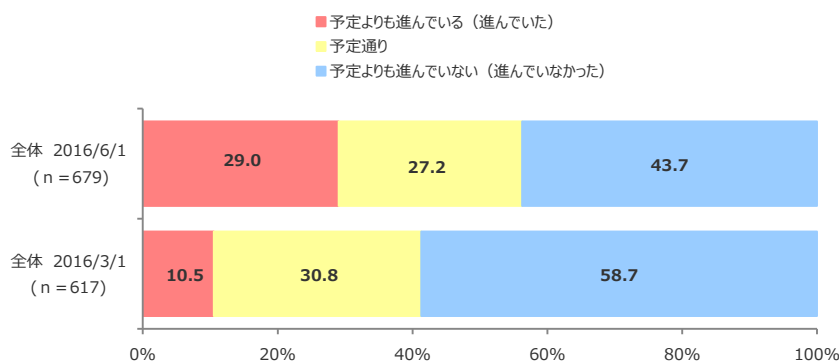
「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、6月1日までにこなしてきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか（就職活動を終了している学生は、終了時期が予定と比べてどうだったか）を聞いた。結果は、「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と回答した学生が最も多く43.7%、「予定よりも進んでいる（進んでいた）」29.0%、「予定通り」27.2%となった。「予定よりも進んでいる（進んでいた）」と「予定通り」を合わせた56.2%の学生が、自身の就職活動の進捗を順調だと感じている。

また、就職活動の広報活動解禁時期である3月1日の調査と比較したところ、3月より「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」学生が減り、「予定よりも進んでいる（進んでいた）」学生が増加していた。就職活動開始当初よりも、順調な学生とそうでない学生の二極化が進んでいるようだ（図17.1）。

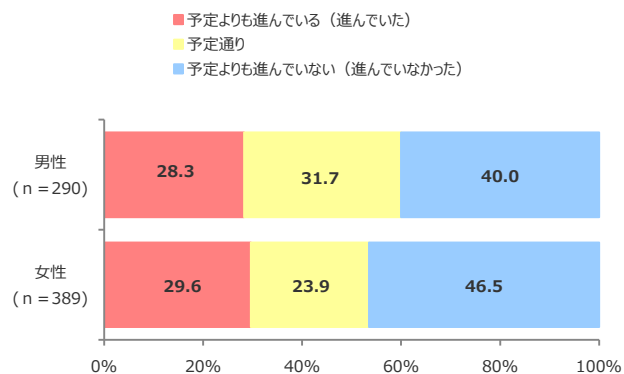
男女別で見ると、女性の方が「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と感じている学生の割合が高い（図17.2）。

内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生では50.0%が「予定よりも進んでいる（進んでいた）」と回答しており、順調さがうかがえる。しかし、「内定なし」の学生では、66.8%が「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と回答しており、「内定あり」の学生との明暗がはっきりと表れている（図17.3）。

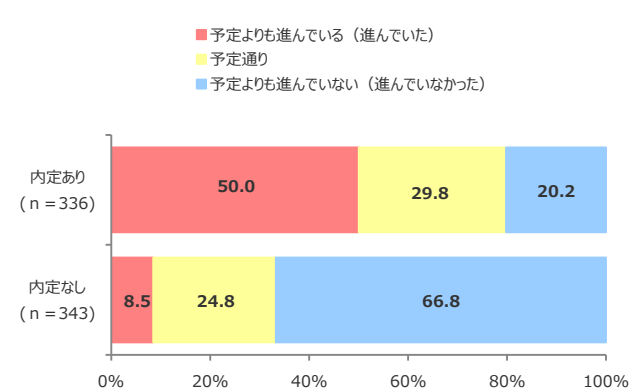
【図17.1】現在までに行ってきた就職活動その準備・対策を振り返り、どのように感じているか



【図17.2】現在までに行ってきた就職活動その準備・対策を振り返り、どのように感じているか：男女別



【図17.3】現在までに行ってきた就職活動その準備・対策を振り返り、どのように感じているか：内定獲得状況別



新たに応募する企業の情報収集源

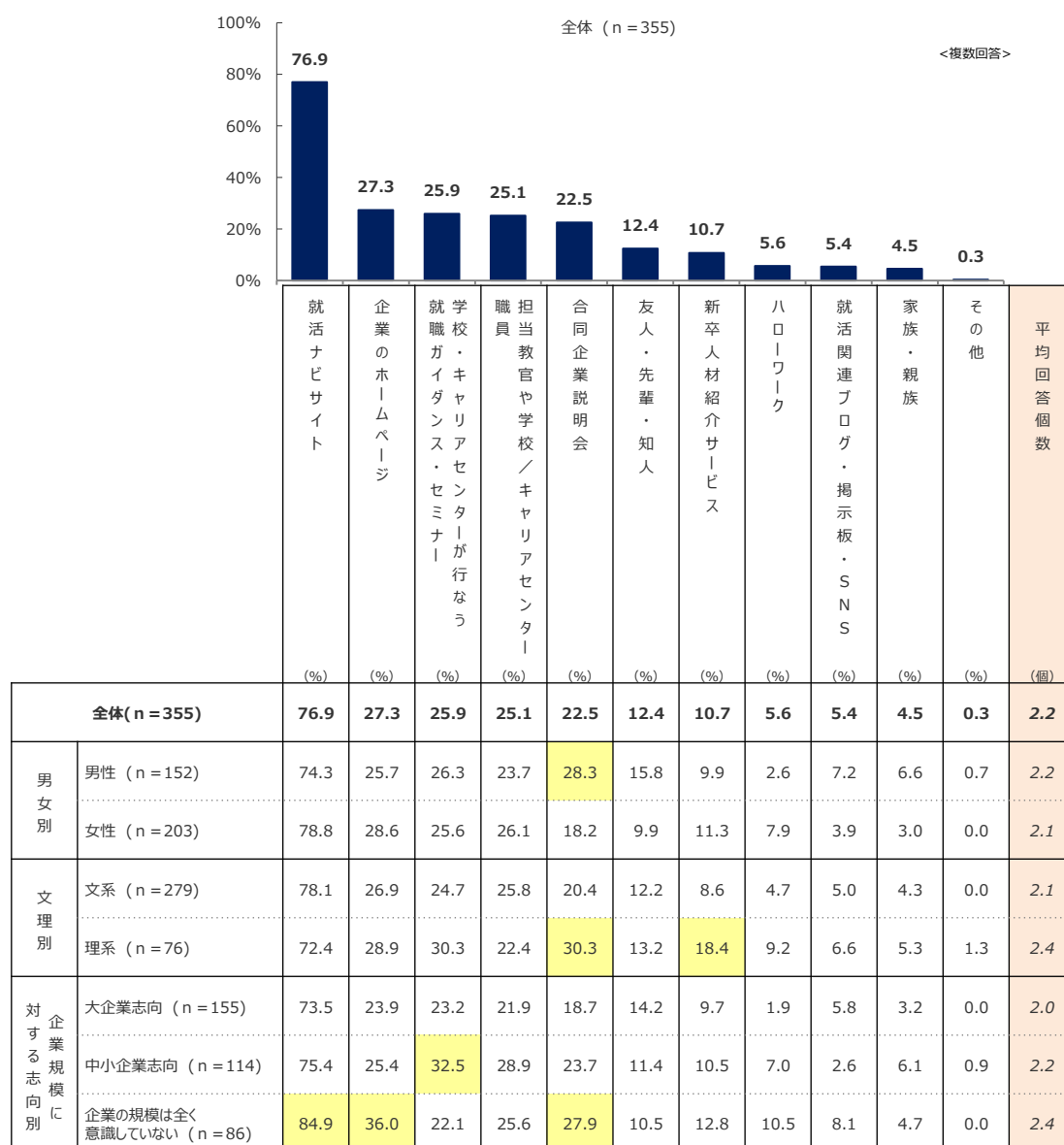
「12 企業への新たな応募予定（6月）」において、6月1日時点で新たに企業に応募する予定が「ある」と回答した学生に対し、応募する企業の採用情報をどこから収集するか聞いた。最も多くの回答を集めたのは「就活ナビサイト」で、76.9%に上る。次いで、「企業のホームページ」27.3%、「学校・キャリアセンターが行なう就職ガイダンス・セミナー」25.9%、「担当教官や学校／キャリアセンター職員」25.1%と続く。

男女別では、男性は女性よりも「合同企業説明会」の利用意向が高く、第2位に挙がっている。

文理別では、理系は、文系よりも「合同企業説明会」や「新卒人材紹介サービス」の回答割合が大幅に高い。平均回答個数も、文系に比べ多くなっている。

企業規模に対する志向別に見ると、「企業規模は全く意識していない」学生は、その他の学生に比べて平均回答個数が多く、様々なところから情報収集を行なう意向があることがうかがえる（図18）。

【図18】 今月、新たに応募する企業の採用情報をどこから入手するか：属性別

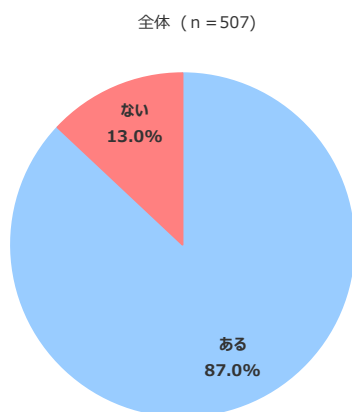


6月上旬の面接予定

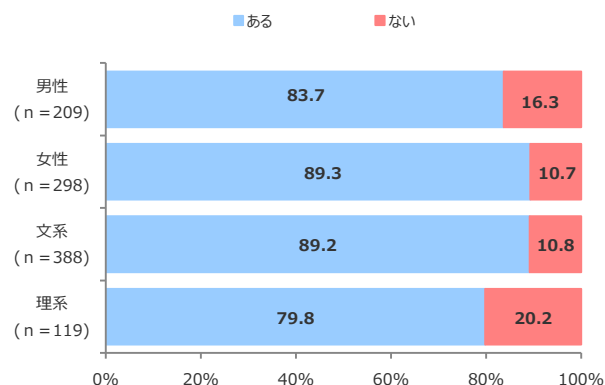
「9 現在選考中の企業数」において、6月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中であり最終的な結果が出ていない状態）の企業が1社以上ある学生に対し、6月上旬（6月1日～6月10日頃まで）に面接選考を受ける予定があるかを聞いた。「ある」と回答した学生は87.0%に上り、男性よりも女性、理系よりも文系の方が、面接予定が入っている学生の割合が高い（図19.1、図19.2）。

また、6月上旬に面接予定が「ある」と回答した学生に対し、その面接の予定はいつ頃から決まっていたかを聞いた。45.8%が「2016年5月下旬」と回答しており、概ね1～2週間前から面接の予定が決まっていたようだ。一方、「2016年5月上旬」以前とする回答が合わせて24.7%に上っている。1か月以上も前から面接の予定が決まっていた学生が一定数いることから、企業側が6月1日の選考活動解禁を意識して、面接の予定を組んでいたことがうかがえる（図19.3）。

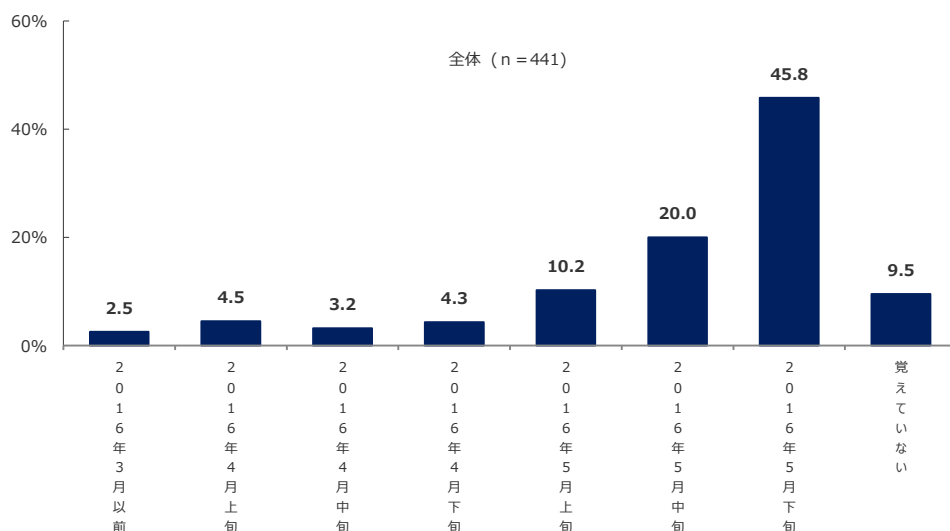
【図19.1】6月上旬に面接を受ける予定はあるか



【図19.2】6月上旬に面接を受ける予定はあるか：属性別



【図19.3】面接の予定はいつ頃から決まっていたか



6月上旬の面接予定企業数

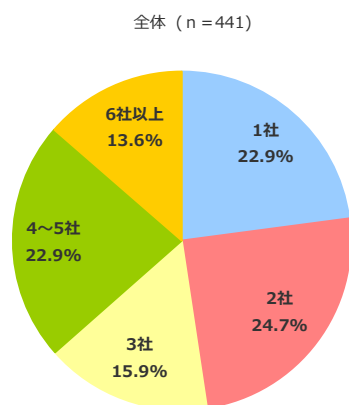
「19 6月上旬の面接予定」において、6月上旬に面接予定が「ある」と回答した学生に対し、その企業数を聞いた。多い順に、「2社」24.7%、「1社」22.9%、「4～5社」22.9社となっている（図20.1）。

属性別に見ると、文理別では、文系は理系よりも面接予定の企業数が平均で0.9社多い。また、企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生は平均4.1社に上り、その他の学生よりも1社以上多くなっている（表20.1）。

また、6月上旬の面接予定のうち、最終面接だとわかっている企業数を聞いたところ、最多の56.0%が「0社」と回答した。半面、「1社」29.7%、「2社」7.9%、「3社以上」6.3%と約4割の学生が最終面接を抱えており、就職活動が終盤に向かいつつあることがうかがえる（図20.2）。

属性別に見ると、男性の方が、最終面接の予定がある学生の割合が高い。文理別で見ると、理系は、「表20.1 6月上旬に面接を受ける予定の企業数」において、文系よりも平均社数が少なかつたにもかかわらず、最終面接企業が1社以上ある割合が高く、少ない企業数でかつ選考の進みが早いようだ（表20.2）。

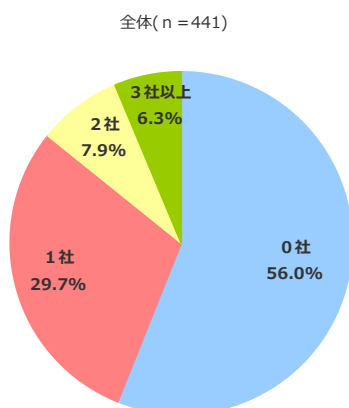
【図20.1】6月上旬に面接を受ける予定の企業数



【表20.1】6月上旬に面接を受ける予定の企業数：属性別

		1社	2社	3社	4～5社	6社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
全体 (n=441)		22.9	24.7	15.9	22.9	13.6	3.5
男女別	男性 (n=175)	24.6	27.4	13.7	21.1	13.1	3.5
	女性 (n=266)	21.8	22.9	17.3	24.1	13.9	3.5
文理別	文系 (n=346)	22.3	21.1	15.9	25.7	15.0	3.7
	理系 (n=95)	25.3	37.9	15.8	12.6	8.4	2.8
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=217)	17.1	20.7	15.2	27.6	19.4	4.1
	中小企業志向 (n=127)	33.1	29.1	12.6	18.1	7.1	2.8
	企業の規模は全く意識していない (n=97)	22.7	27.8	21.6	18.6	9.3	3.1

【図20.2】そのうち、最終面接だとわかっている企業数



【表20.2】そのうち、最終面接だとわかっている企業数：属性別

		0社	1社	2社	3社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
全体 (n=441)		56.0	29.7	7.9	6.3	0.7
男女別	男性 (n=175)	46.9	40.6	7.4	5.1	0.7
	女性 (n=266)	62.0	22.6	8.3	7.1	0.7
文理別	文系 (n=346)	58.1	28.0	7.5	6.4	0.7
	理系 (n=95)	48.4	35.8	9.5	6.3	0.8
6月上旬の面接予定の企業数を別	1社 (n=101)	72.3	27.7	0.0	0.0	0.3
	2社 (n=109)	62.4	28.4	9.2	0.0	0.5
	3社 (n=70)	54.3	28.6	8.6	8.6	0.7
	4～5社 (n=101)	48.5	26.7	12.9	11.9	0.9
	6社以上 (n=60)	31.7	41.7	10.0	16.7	1.3

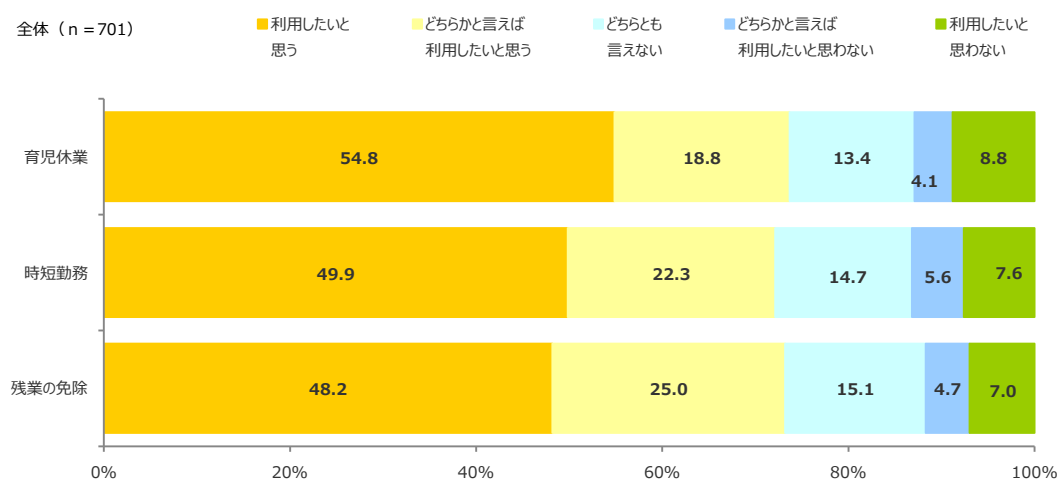
育児休業等の利用意向

学生に、将来的に育児のための制度（「育児休業」「時短勤務」「残業の免除」）を利用したいか聞いた。「育児休業」については、「利用したいと思う」と回答した学生が54.8%に上った。「どちらかと言えば利用したいと思う」も含めると、73.6%の学生に利用意向があった。「時短勤務」「残業の免除」も概ね同様の傾向で、7割以上の学生に利用意向がある（図21.1）。

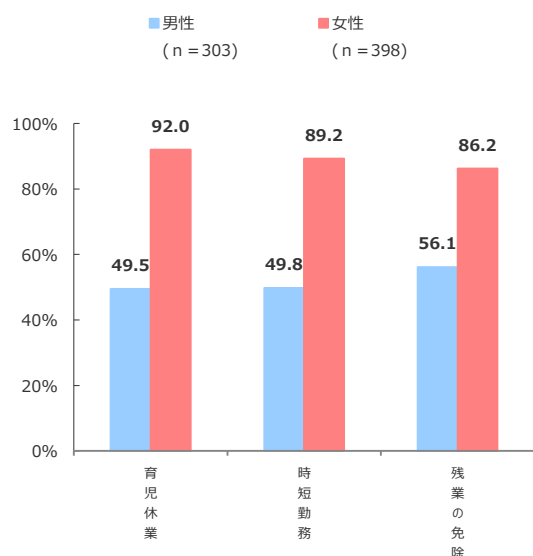
男女別に見ると、各制度に対する「利用したいと思う」と「どちらかと言えば利用したいと思う」を合わせた利用意向は、女性の方が圧倒的に高い。男性の利用意向は、「育児休業」「時短勤務」で5割を下回るが、「残業の免除」では56.1%と増加し、前述の2つの制度よりも利用へのハードルが低いようだ（図21.2）。

さらに、女性に対して各制度をパートナー（夫）に利用してほしいか聞くと、「育児休業」57.5%、「時短勤務」52.0%、「残業の免除」65.1%という結果になった。「図21.2 育児休業を利用したいと思う割合：男女別」で明らかになった男性“本人”の利用意向よりもやや高く、パートナー（夫）に対して期待している様子である。特に、「残業の免除」でその傾向が強い。一方で、女性本人の利用意向よりも大幅に低い値であることから、男性が各制度を利用することの難しさを感じていることも垣間見える（図21.3）。

【図21.1】育児休業等を利用したいと思うか



【図21.2】育児休業等を利用したいと思う割合：男女別



【図21.3】パートナー（夫）に育児休業等を利用してほしいと思うか：女性のみ

